

## 数 学 II

### 1. 学習の到達目標

基礎基本を確実に定着させ、大学入試問題などの高いレベルの問題にもそれらを正確に活用・表現することを通じて、課題の解決に際し数学的論拠に基づいて思考・判断し、自らの考えを表現・検証できる能力を育てる。

### 2. 使用教科書：新編数学II（東京書籍）

### 3. 指導計画

学習時期		単元／学習事項	学習のねらい
2 年	文系		
	4月	微分法と積分法 ・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式	・微分係数や導関数の定義を正しく理解する。 ・多項式の微分の計算ができる。 ・微分を利用して接線の方程式を求めることができる。
	5月	・関数の増減と極大・極小 ・関数の増減・グラフの応用 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と図形の面積	・グラフを用いて関数の極大値や極小値を求めることができる。 ・不定積分、定積分の計算ができる。 ・曲線や直線で囲まれた図形の面積を求めることができる。
	6月	数 I A II B 演習	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月	↓	
	12月	センター演習	
	1月	↓	

### 4. 評価規準と方法

#### 【評価規準】

- 積極的に学習に参加し、学習内容を理解しようとしている。
- 定義の意味やその特性および公式の性質を理解している。
- グラフや公式を活用し、いくつかの側面から問題を捉え、解法に結びつけることができる。
- 的確な表現を用い、説明できる。

#### 【評価方法】

定期考査、確認テスト、提出課題および提出状況、学習活動への取り組み方